

## 研究情報公開

受付番号	19-95
研究課題名	大腿骨近位部骨折患者における骨格筋量が機能的予後に及ぼす影響
研究機関	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院
研究実施者	リハビリテーション療法部 理学療法士 白石涼
研究の背景・目的・方法等	<p>[研究の目的]</p> <p>本研究は腹部 CT 画像を用いて大腰筋面積を測定し、骨格筋量と機能的予後の関連を調査します。</p> <p>[研究の方法]</p> <p>●対象となる方 当院に入院した大腿骨近位部骨折患者様</p> <p>●利用するカルテ情報 *年齢*性別*身長*体重*BMI*既往歴*大腿骨近位部骨折の骨折型*手術の有無*手術の種類*発症から入院までの日数*発症から CT 撮影までの日数*入退院時 FIM*FIM 利得*FIM 効率*在院日数*大腰筋面積</p> <p>●カルテ情報の利用方法 上記のカルテ情報は、患者様の骨格筋量と機能的予後との関連を分析する材料とします。</p> <p>[個人情報の取り扱い]</p> <p>利用する情報からは、お名前、住所など、患者様を直接同定できる個人情報は削除します。また、課題研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。</p>
研究期間	承認日～2025 年 12 月 31 日